



パーパス重視の経営が戦略遂行を加速させる

企業・組織の存在意義を再定義し、共通の価値観を浸透させるパーパス(Purpose)コンサルティング

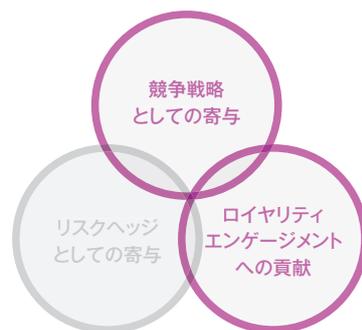
パーパス*重視の経営が求められる理由とNRIのパーパス(Purpose)コンサルティング

グローバル化の進展やサステナビリティ経営の大きな潮流、事業環境の不確実性の高まりなどのなかで、戦略の効果的遂行に向けて組織を束ねる“求心力”の重要性が増しています。

企業・組織や社員一人ひとりが“社会における存在意義”=パーパス(Purpose)を見つめなおし、再定義し、共有・共鳴する環境を用意することで、企業は戦略実現に向けて大きな力を得ることができます。NRIは、企業・組織の存在意義を再定義し、共通の価値観を浸透させるパーパス(Purpose)コンサルティングでクライアントをサポートします。

*パーパス(Purpose)…その企業や組織が「なぜ、何のために存在するのか」という社会における確固たる存在意義を指します。

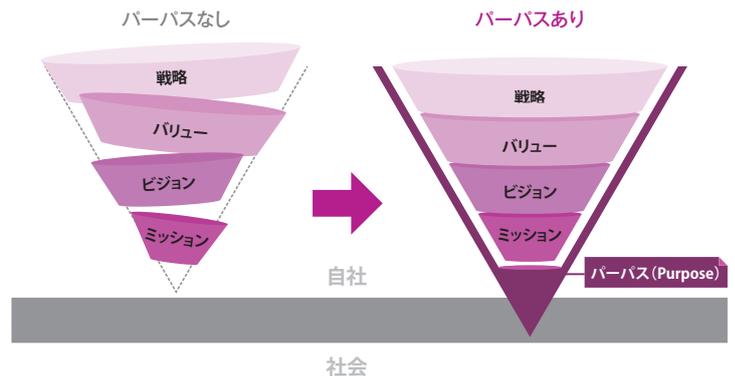
< 獲得できる経営成果 >





組織求心力となる社会における 確固たる存在意義=パーパス(Purpose)

< パーパス(Purpose)とは >



- 社会における自社の存在意義がより明確となる
- 長期的にビジョン・戦略がぶれず一貫性が保たれる
- 唯一無二の存在としての自社が再確認される

ステークホルダーが共感・共鳴できるパーパスを 経営の機軸に据えることで、戦略遂行を加速

企業の社会的存在に対する社会からの期待、サステナビリティへの感度が高いミレニアル世代の存在、組織を束ねる“求心力”の重要性の高まりなどを背景に、「社会における存在」としての企業がより強く意識されるようになっていきます。

社内外のステークホルダーが共感・共鳴できる共通の価値観や考え方=パーパスを機軸におき、経営・事業の推進やコミュニケーションを図ることによって、ステークホルダーからの信頼や共感を高めることができます。戦略遂行を担う従業員の観点からも組織の求心力を高め、働く意義や誇りを感じやすくなるなどの効果が見込め、結果、戦略遂行を加速させることが可能となります。

“持続可能性”と“組織開発”の 双方の知見を結集し、クライアントをサポート

企業や組織にパーパスを導入するために欠かせない要素があります。NRIは、これらの要素を踏まえたコンサルティングによって、クライアント企業の経営の節目におけるパーパス再定義を支援します。さらにサステナビリティサービスを手がけるコンサルタントと組織開発の専門性を有するコンサルタントが連携し、経営トップ層から従業員一人ひとりに至るさまざまな階層における共感醸成や浸透をサポートします。

株式会社 野村総合研究所

コンサルティング事業本部
東京都千代田区大手町 1-9-2
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
<http://www.nri.co.jp>

Copyright©Nomura Research Institute, Ltd.
100-0005-01-1807

ご関心のある方は、詳しい説明が可能ですので、
下記までお問い合わせください。
e-mail : sustainability_c@nri.co.jp